

## 第12回 運営・研究部会

平成23年度活動報告・24年度計画(案)、  
および、オープンラボ利用状況

平成24年4月26日

# 平成23年度活動トピックス

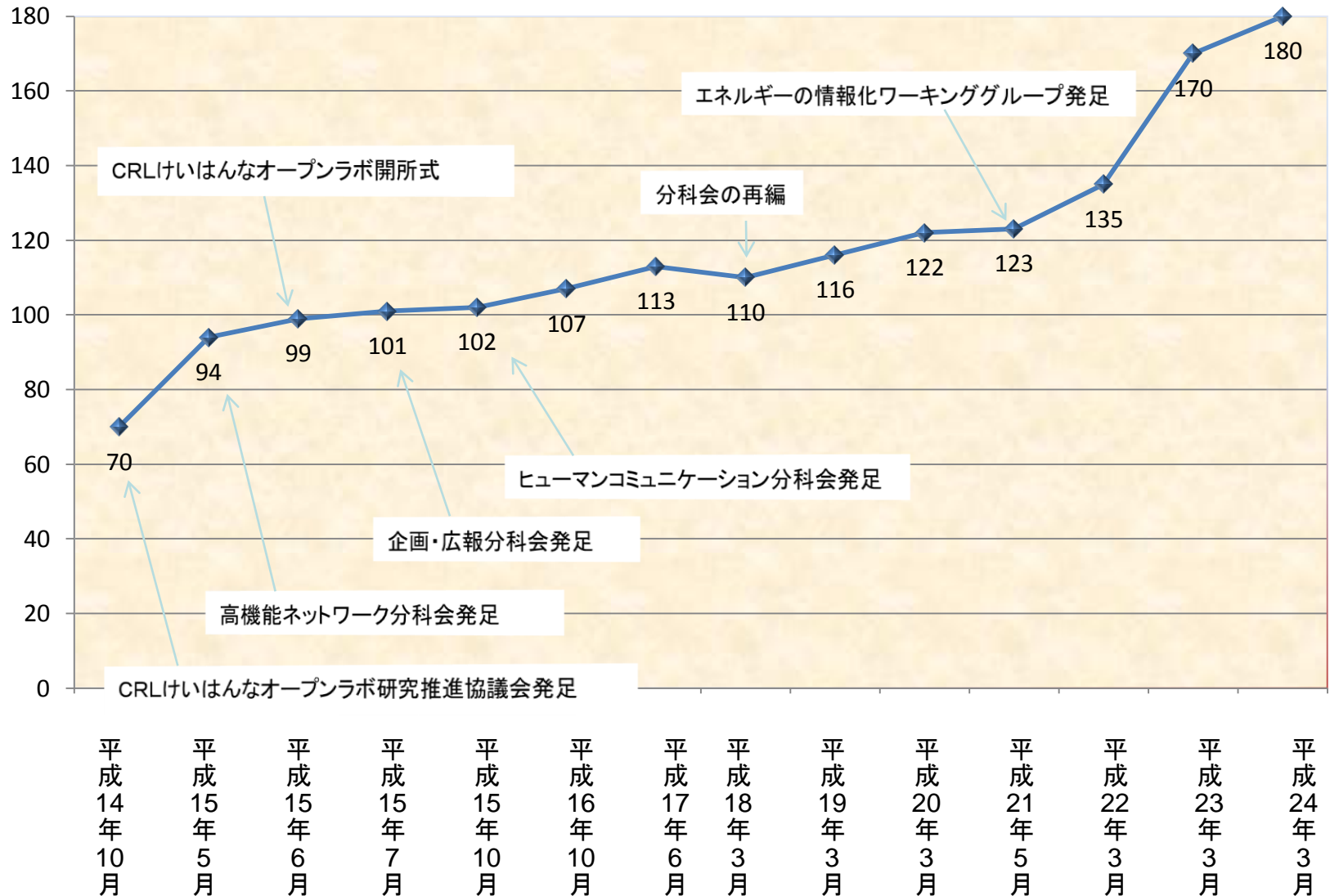
- 協議会がオープンラボという施設のみにとられず、より広く産学官連携による情報通信分野の研究開発の発展をはかるための活動をおこなえるようにするため、規約中の目的と活動について改訂をおこなった。
- 災害時の情報通信ネットワークの課題やニーズ、震災復興に向けて情報通信技術の役割などについて調査、検討し、東北地域の産学官連携関係者との交流や情報交換をおこなうために、東北より講演者を招いて、けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2011「新しい日本の姿に向けた情報通信の役割」を開催(12月1日)
- セミナー、ワークショップを開催(2次元通信セミナーを2月24日、ネットワークセキュリティセミナーを3月23日、新世代ネットワークワークショップを3月27日)
- けいはんな情報通信研究フェア2011において活動紹介の展示(11月10日～12日)
- より効果的な協議会体制とするため、ユビキタスネットワークロボット専門委員会をユニバーサルコミュニケーション分科会のWGとして編成
- オープンラボ施設として、新たにタイルディスプレイテストベッドを開設。

## ◇ 分科会リーダーの変更

新世代ネットワーク分科会 大柴小枝子様 退任(後任は調整中)

# 会員数の推移

会員数



# 分科会参加状況

分科会、ワーキンググループ(WG)への参加人数(2012年3月現在)

新世代ネットワーク分科会		
分科会	相互接続性検証WG	フォトニックWG
40	68	21

※WGのみの所属者あり

ユニバーサルコミュニケーション分科会				
分科会	ユビキタスネットワークロボットWG	2次元通信WG	エネルギーの情報化WG	映像コミュニケーションWG
152	12	29	116	5

※WGのみの所属者あり

# 平成23年度オープンラボ利用状況





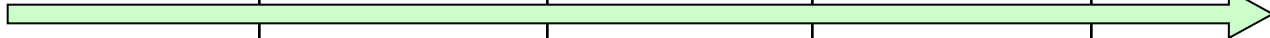





## <新世代ネットワーク分野>

	プロジェクト名	研究機関	参加人数	研究概要
	次世代コンテンツディストリビューションネットワーク基盤技術の研究開発	有限会社咲楽屋	3	高速・高信頼分散データ共有技術、クラスタシステムから広域ネットワークまでスケーラブルなコンテンツディストリビューションネットワーク構築技術、マルチメディアコンテンツを対象とした応用システムの研究開発をおこなう。
計	1	1	3	

## <ユニバーサルコミュニケーション分野>

	プロジェクト名	研究機関	参加人数	研究概要
	HD映像伝送装置とホール設備との連携における実証実験	西日本電信電話株式会社	8	ハイビジョン映像伝送装置(HDエンコーダ、デコーダ)と、ホール設備(プロジェクタ・照明・音響・スクリーン・誘導灯等)との連携のための装置開発、および、性能評価をおこなう。
	自動車運転行動情報センシング評価システムの長時間実業務仕様化とその全国的使用による交通安全情報マップの構築	株式会社ATR-Sensetech	6	人間行動理解技術の自動車運転行動への適用システムが完成し、事故防止のための運転技能自動評価装置として実用に供されているが、このシステムのユーザ親和性を格段に向上させ、かつ長時間の連続計測を可能にして実用の運送業務中のリアルタイム計測・分析を可能とするシステムを開発する。
計	2	2	14	

# 平成24年度のスケジュール(案)

	平成24年度 4月	7月	10月	1月	平成25年度 4月
総会	 第11回総会 6/4				 第12回総会5月予定
運営・研究部会	 第12回部会 4/26				 第13回部会4月予定
分科会	 企画・広報分科会: 研究開発プロジェクトの企画、研究交流、研究活動推進を支援 研究ニーズ調査、成果活用促進   研究系分科会: 研究開発プロジェクトの推進等				
シンポジウム等		 セミナー	  けいはんな情報通信研究フェア2012	 セミナー	

# 協議会設立10周年

当協議会は2002年10月31日に設立された。本年は10周年にあたるため記念事業をおこなうことを事務局で検討中。

(案)

- 例年おこなっているオープンラボシンポジウムを、10周年をテーマにして実施
  - ・記念講演、座談会
  - ・10年間の研究成果発表
  
- これまでの記録の整理、まとめ